

# 有馬記念館年報 第1号

---

平成26(2014)年度

平成28年3月  
公益財団法人有馬記念館保存会

## ごあいさつ

有馬記念館は、昭和 34 年（1959）の久留米市制 70 周年を記念して、石橋正二郎氏（株式会社ブリヂストン社長・当時）より施設を寄贈され、昭和 35 年に開館し、久留米の郷土資料館として親しまれてきました。

平成 21 年度には、久留米市制 120 周年と石橋正二郎氏生誕 120 年を記念して、施設の改修工事を行い、平成 22 年 11 月 28 日にリニューアル・オープンしました。以来、特別展・企画展など、数々の展示会を開催し、大名有馬家や久留米藩ゆかりの歴史資料・美術工芸品を公開してまいりました。

平成 26 年 5 月 18 日には、リニューアルオープン以降、入館者 5 万人を達成し、26 年度末までに通算 54,780 人にご来館いただきました。これもひとえに、多くの方々のご協力の賜物であり、厚くお礼申し上げます。

平成 27 年度にリニューアル 5 周年を迎えるにあたり、今後、郷土資料の収集及び調査、公開をより広く進め、館の事業の中心である展示会では、テーマ設定の対象範囲を“郷土久留米”に広げ、さまざまな視点から久留米の歴史文化を発信してまいります。

この度、事業の充実をはかるとともに、その周知を進めていくため、年報を創刊することとなりました。当館の活動を知っていただき、今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 3 月 31 日

公益財団法人有馬記念館保存会  
会長 檜原 利則

# 目次

I 有馬記念館の概要	1
1. 施設の設置	1
2. 施設の管理	1
3. 施設の概要	1
4. 運営	2
5. 予算	3
6. 開館時間	3
7. 入館料	3
II 沿革	4
1. 有馬記念館のあゆみ	4
2. 平成 22 ～ 25 年度の展示事業	6
III 平成 26 年度事業の概要	11
1. 展示	11
2. 広報	12
3. 教育普及	13
4. 収蔵資料の活用状況	13
5. 入館者数	14

# I. 有馬記念館の概要

## 1. 施設の設置

有馬記念館は、昭和 34 年(1959)の久留米市制 70 周年を記念して、昭和 35 年に郷土資料の調査・研究を目的に、当時の株式会社ブリヂストン社長・石橋正二郎氏より寄贈されたものである。市制 120 周年にあたる平成 21 年度に改修工事を行い、翌 22 年度にリニューアル・オープンした。

## 2. 施設の管理

公益財団法人有馬記念館保存会事務局（久留米市市民文化部文化財保護課内）

※当財団は公益財団法人の認定を福岡県知事より受け、平成 24 年 4 月 1 日より公益財団法人に移行。

## 3. 施設の概要

所在地 福岡県久留米市篠山町 444 番地

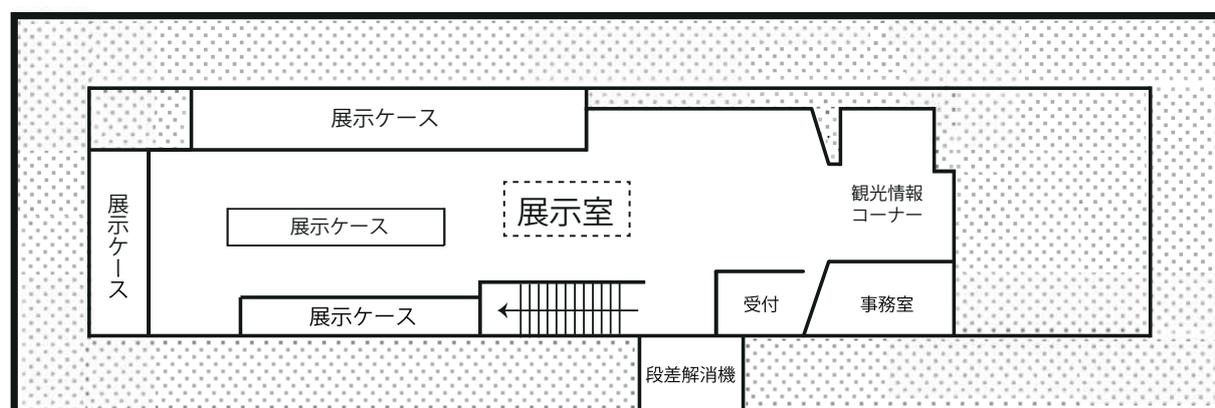
建築面積 492.9㎡

構造 鉄筋コンクリート造 2階建

竣工 昭和 35 年 3 月 28 日

（平成 22 年度有馬記念館内外部改修・耐震改修工事実施）

有馬記念館展示室（2階）平面図



#### 4. 運営

公益財団法人有馬記念館保存会

役員名	氏名	所属
会長	榑原 利則	久留米市長
副会長	本村 康人	久留米商工会議所会頭
常務理事	野田 秀樹	久留米市市民文化部長
理事	山田 茂人	篠山神社宮司
理事	神代 正道	久留米大学理事長
理事	酒井田 達朗	株式会社ブリヂストン九州生産本部総務部長
監事	稲永 辰夫	株式会社福岡銀行県南地区本部執行役員・本部長
監事	奈良崎 洋治	久留米市会計管理者

評議員	橋本 政孝	久留米市副市長
評議員	樋口 一成	久留米郷土研究会代表
評議員	河北 宣正	篠山神社総代
評議員	辻 文孝	公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会常務理事
評議員	高田 明彦	株式会社ブリヂストン九州生産本部総務部総務課長
評議員	佐藤 光義	久留米市市民文化部次長

#### ・事務局

事務局長（1）－ 事務局次長（1）－ 事務局員（7）

職名	氏名	所属
事務局長	園井 正隆	久留米市市民文化部文化財保護課 課長
事務局次長	宮崎 俊一	同 課長補佐
書記	水原 道範	同 事務主査
書記	小形 孝徳	同 事務主査
書記	穴井 綾香	同 主事
書記	佐藤 響子	同 主事
書記	津村 眞知	同 主事
書記	焼山 莉佐	同 任期付非常勤職員
書記	井上 美樹	同 任期付非常勤職員

## 5. 予算

経常収益費計 15,275,488 円

経常費用計 20,111,929 円

## 6. 開館時間

開館時間 10:00 ～ 17:00（但し、入館は 16:30 まで）

休館日等 毎週火曜日（火曜日が祝祭日の場合はその翌日）

年末年始 展示替期間

## 7. 入館料

- ・高校生以上 200 円（150 円） 小中学生 100 円（50 円） ※（ ）内は 15 名以上の団体料金
- ・毎週土曜日は高校生以下無料
- ・身体障害者手帳・療育手帳の交付を受けている方及びその介護者は無料
- ・その他の減免制度あり

有馬記念館 外観



## Ⅱ. 沿革

### 1. 有馬記念館のあゆみ

昭和 35 年 (1960)	4 月 25 日、有馬記念館の整備完工式及び贈呈式。ブリヂストン株式会社 (現：株式会社ブリヂストン) 社長石橋正二郎氏の篤志による
昭和 36 年 (1961)	1 周年記念「キリシタンと久留米展」
昭和 38 年 (1963)	財団法人有馬記念館保存会設立。有馬記念館と東郷記念館の維持管理、郷土資料の一般公開展示に当たる
昭和 40 年 (1965)	「藩御用絵師展」
昭和 41 年 (1966)	「久留米絵絢逸品展」 「九州郷土玩具展」 「久留米籃胎漆器展」
昭和 42 年 (1967)	「久留米藩金工展」
昭和 43 年 (1968)	「郷土日本画諸流派展」
昭和 44 年 (1969)	「屏山文庫特別展」 「坂本繁二郎をしのぶ特別展」
昭和 45 年 (1970)	「筑後路の焼きもの特別展」 「高良山文化展」
昭和 46 年 (1971)	「有馬家秘宝展」 以後、常設展示となる
昭和 58 年 (1983)	3 月 19 日、久留米城本丸跡が県の史跡に指定される 「有馬記念館新収蔵品展」
昭和 59 年 (1984)	「福聚禅寺金工名品展」
平成元年 (1989)	「久留米市制百周年記念 久留米城下町展 ～絵図に見る近世久留米の変遷～」
平成 4 年 (1992)	「高山彦九郎先生二百回忌 高山彦九郎とその時代」 (共催：財団法人高山彦九郎先生史蹟顕彰会)
平成 5 年 (1993)	「初代藩主有馬豊氏三百五十回忌記念 新収蔵品展」
平成 7 年 (1995)	「筑後古陶器資料展」
平成 9 年 (1997)	「有馬の藩主展～篠山神社文庫史料より～」 「懐かしい郷土玩具とグリコのオマケ展～鬼塚コレクション～」
平成 10 年 (1998)	「有馬家資料新収蔵品展～江戸末期から現代まで～」
平成 12 年 (2000)	「久留米の禅林墨跡展」 開館 40 周年記念「井上傳に始まる久留米絢展～200 年の軌跡～」
平成 13 年 (2001)	「久留米藩の茶道史展」
平成 14 年 (2002)	「久留米藩の水運展～川の道・海の道～」

- 平成 15 年 (2003) 「久留米城下の三大祭り展」
- 平成 16 年 (2004) 「久留米の近代日本画家たちへの回顧展～現代に見る遺作を追って～」
- 平成 17 年 (2005) 「久留米城下町と人々の暮らし～江戸時代の衣食住～」展
- 平成 18 年 (2006) 「久留米城の廃城とその後～近代久留米の発展へ～」展
- 平成 19 年 (2007) 久留米市文化観光部観光振興課から文化財保護課に所管替え  
「久留米藩九代藩主有馬頼徳とその時代」展
- 平成 20 年 (2008) 「お姫様のひなあそび」展  
「殿様を画く～藩主の肖像と御用絵師～」展
- 平成 21 年 (2009) 「お姫様のひなあそび～姫君の婚礼とひな道具～」展  
(改修工事前最後の企画展)
- 平成 22 年 (2010) 11 月 28 日、リニューアルオープン
- 平成 24 年 (2012) 公益財団法人に移行

## 2. 平成 22 ～ 25 年度の展示事業

### (1) 平成 22 年度

#### ①リニューアル企画展「久留米・有馬発見伝—久留米藩 250 年の幕開け—」

会 期 平成 22 年 11 月 28 日 (日) ～平成 23 年 2 月 21 日 (月)

内 容 「有馬氏と久留米城」「大名家を生きる」「姫様ものがたり」「近代の有馬家」「城下町と人々の暮らし」の 5 つのテーマに沿って、有馬家と久留米の歩みを紹介した。



リニューアルオープン記念式典



リニューアル企画展会場



#### ②九州新幹線全線開通記念特別展「有馬家の甲冑 大熊・小熊」

会 期 平成 23 年 2 月 26 日 (土) ～平成 23 年 5 月 9 日 (月)

内 容 久留米藩主有馬家 2 代忠頼・4 代頼元の所用と伝わる「大熊」「小熊」を中心に、有馬家ゆかりの武具を公開し、有馬家に受け継がれた武と美の系譜をたどる。

図 録 A 4 判、カラー 28 頁、600 部を刊行した。



(2) 平成 23 年度

①第 1 回常設展「久留米・有馬発見伝Ⅱ

—家紋の格と美・夏の彩り・町人のくらし—

会 期 平成 23 年 5 月 14 日（土）～平成 23 年 7 月 11 日（月）

内 容 平成 23 年度の常設展は、「家紋」「人形」「季節の絵画」を通年のテーマにして有馬家ゆかりの歴史資料・美術工芸品を公開。絵画は「初夏」にまつわる作品を取り上げた。



②第 1 回企画展「夏休みこども記念館—江戸時代のお殿さまのくらし—

会 期 平成 23 年 7 月 16 日（土）～平成 23 年 9 月 5 日（月）

内 容 小学生向けの解説で、有馬家のお殿さまのくらしを紹介。

関連事業 「江戸時代を写しとろう！拓本体験」（7月24日・8月7日）を開催した。



③第 2 回常設展「久留米・有馬発見伝Ⅲ—錦秋の美—

会 期 平成 23 年 9 月 10 日（土）～平成 23 年 10 月 17 日（月）

内 容 通年のテーマに沿って、秋の草花をあしらった漆工芸品や絵画を中心に公開した。

④特別展「京都相国寺宝物展」

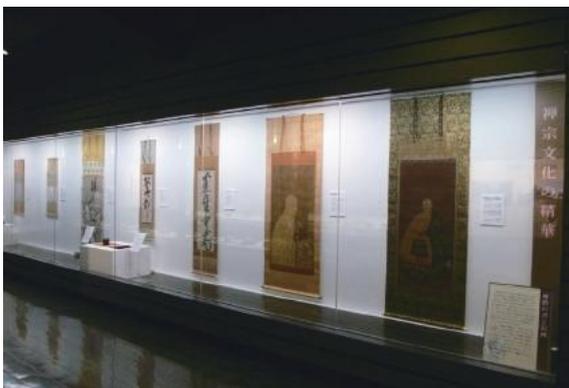
会 期 平成 23 年 10 月 29 日（土）～平成 23 年 11 月 23 日（水）

内 容 伊藤若冲の作品を中心に、京都相国寺、鹿苑寺、慈照寺、大光明寺の貴重な所蔵品約 40 点を公開し、禅宗文化の美の世界を紹介した。

関連事業 有馬頼底氏による記念講演会（10月29日）を開催。



特別展会場



特別展オープニング式典



⑤第3回常設展「久留米・有馬発見伝Ⅳ－吉祥の美－」

会 期 平成23年12月3日(土)～平成24年1月23日(月)

内 容 新春にあわせて吉祥模様をあしらった有馬家の御道具類や、辰年にちなんで久留米城下町遺跡からの出土した龍模様の陶磁器などを公開した。

⑥第2回企画展「有馬家のひなまつり」

会 期 平成24年1月28日(土)～平成24年3月12日(月)

内 容 旧久留米藩主大名有馬家に伝来する雛人形・雛道具を公開。近代有馬家で実際に飾られていたひな壇も再現し、大名有馬家ならではの豪華なひな祭りの美を紹介した。

関連事業 箏コンサート「春を奏でる」(3月3日、演奏者：LeiHa氏)を開催した。



⑦第4回常設展「久留米・有馬発見伝Ⅴ－桜花の麗－」

会 期 平成24年3月17日(土)～平成24年4月16日(月)

内 容 桜の季節にあわせて、有馬家伝来の工芸品から桜模様の御道具を公開。

(3) 平成24年度

①第1回常設展「大名有馬家コレクション(1)－甲冑・武具－」

会 期 平成24年4月28日(土)～平成24年7月2日(月)

内 容 平成24年度常設展は、通年のテーマを「大名有馬家コレクション」とし、第1回では有馬家伝来の大名道具のうち、甲冑・武具をテーマに展示。これまで出品機会の少なかった有馬家の刀剣で、古くは室町時代から江戸時代までの貴重な品々を公開した。



②企画展「源平合戦と久留米」

会 期 平成24年7月21日(土)～平成24年9月24日(月)

内 容 平清盛や安徳天皇など平氏ゆかりの人々と、久留米との関わりを紹介。水天宮所蔵の古記録や、朝日寺の木造神子栄尊坐像(福岡県指定有形文化財)などを公開した。

関連事業 「弓矢で扇をあてよう！」(8月26日)を開催した。



③第2回常設展「大名有馬家コレクション（2）－姫様のお道具－」

会 期 平成24年10月6日（土）～平成24年12月10日（月）

内 容 大名有馬家に興入れした姫様たちが、婚礼の折に実家から持参した豪華な婚礼道具と、そのミニチュアである雛道具を中心に公開。また、久留米城下町遺跡から発見された土や陶器で作られた玩具も展示した。



④特別展「金閣・銀閣の寺宝展－雪舟、等伯、宗達、そして若冲－」

会 期 平成25年1月12日(土)～平成25年3月10日(日)

主 催 久留米市 公益財団法人石橋財団石橋美術館  
公益財団法人有馬記念館保存会

内 容 石橋美術館別館と有馬記念館を会場に、それぞれ第1・2期の会期を設け、室町時代から江戸時代までの巨匠が描いた絵画、中国・朝鮮・日本の陶磁器の名品など、約70点を公開した。

図 録 変形判（300×190）、カラー・モノクロ183頁、1000部・増刷200部を刊行した。

関連事業 キモノで楽しむ金閣・銀閣展（1月26日）、美術講座「若冲の歌を聴け－その虚像と実像－」（2月2日、講師：狩野博幸氏）を開催した。



図録（前・後表紙）



⑤第3回常設展「大名有馬家コレクション（3）－殿様の書画－」

会 期 平成25年3月23日（土）～平成25年5月27日（月）

内 容 久留米藩主有馬家歴代のうち、名君として崇敬を集めた10代頼永、幕末維新の激動の時代を生きた11代頼咸の書を中心に公開した。

(4) 平成 25 年度

①第 1 回常設展「大名有馬家コレクションー殿様の書画（2）ー」

会 期 平成 25 年 6 月 15 日（土）～平成 25 年 8 月 12 日（月）

内 容 平成 24 年度第 3 回常設展「殿様の書画」第 2 弾として開催。  
久留米藩主有馬家歴代のうち、藩政機構の整備に尽力し、治水  
や開発にも心を注いだ 4 代頼元、学問に長け和算研究でも知ら  
れる 7 代頼僮の書を中心に公開した。



②第 1 回企画展「徳川将軍家と有馬家ー古文書にみる主従のかたちー」

会 期 平成 25 年 8 月 31 日（土）～平成 25 年 10 月 14 日（月）

内 容 今回の企画展では、徳川家康・秀忠・家光から有馬家宛てに出  
された書状や御内書を中心に公開し、“古文書からうかがえる  
両者の主従関係のかたち”を紹介。また、前史のなかで、秀吉  
から則頼に出された朱印状、石田三成など豊臣家の奉行らによ  
る連署掟も公開した。



③第 2 回常設展「大名有馬家コレクションー有馬家の茶道具ー」

会 期 平成 25 年 11 月 2 日（土）～平成 26 年 2 月 3 日（月）

内 容 茶壺や茶碗を中心に、有馬家ゆかりの茶道具約 30 点を展示。  
有馬家で用いられた呂宋壺や、9 代藩主有馬頼徳の御庭焼・柳  
原焼などを取り上げた。



④第 2 回企画展「お姫様のひなまつり」

会 期 平成 26 年 2 月 22 日（土）～平成 26 年 4 月 7 日（月）

内 容 近代有馬家で実際に楽しまれていたひな壇飾りを再現すると  
ともに、姫様愛用の人形の数々、久留米城下町遺跡から出土した  
玩具なども展示。

関連事業 ギャラリートーク（3月1・15日）、桜コンサート（3月23日、  
演奏者：フルート 大西麻衣子氏、ピアノ 与田香菜子氏）を  
開催した。



※担当学芸員

(1) ①～(3) ⑤ 福田 善子 (久留米市文化財保護課職員・財団書記兼務：平成 21 年 5 月～平成 25 年 3 月)

(4) ①～④ 穴井 綾香 (久留米市文化財保護課職員・財団書記兼務：平成 24 年 5 月～)

### Ⅲ. 平成 26 年度事業の概要

#### 1. 展示

##### (1) 第 1 回企画展「久留米藩の学問」

会 期 平成 26 年 4 月 19 日（土）～平成 26 年 7 月 28 日（月）

内 容 江戸時代中期から後期にかけて、久留米藩では藩主が様々な分野の学者を招き、学問の興隆に尽くした。自ら和算の奥義を究めた 7 代藩主有馬頼僮の数学書や、8 代藩主頼貴が設立した藩校明善堂に関する古文書など、歴史資料 28 点を公開した。

関連事業 「和算に挑戦！」（5 月 18 日、講師：久留米工業高等専門学校教授・松田康雄氏）を開催した。（穴井）



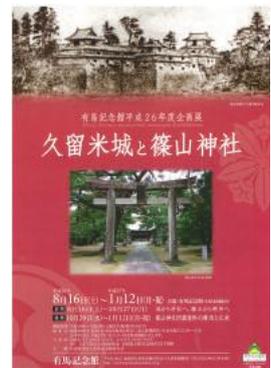
##### (2) 第 2 回企画展「久留米城と篠山神社」

会 期 前期 平成 26 年 8 月 16 日（土）～平成 26 年 10 月 27 日（月）

後期 平成 26 年 10 月 29 日（水）～平成 27 年 1 月 12 日（月）

内 容 明治 10 年、旧久留米藩士民の有志により、久留米城跡に建立された篠山神社は、有馬家ゆかりの品々を譲り受けるとともに、旧藩士から書物や絵画などの寄進を受けた。本展では、篠山神社所蔵の資料をもとに、前期「城から神社へ、藩主から祭神へ」は久留米城から篠山神社にいたる歴史を、後期「篠山神社所蔵資料の構造と伝来」は篠山神社所蔵の資料がどのような内容を持ち、いかに伝来してきたかを紹介した。展示資料数は、前期 41 点、後期 42 点、通期 5 点。

関連事業 「ぐる～り！城跡めぐり～ほとめき感じる秋空ウォーク～」（11 月 16 日）を開催した。（穴井）



##### (3) 第 3 回企画展「姫様のお道具」

会 期 平成 27 年 1 月 31 日（土）～平成 27 年 5 月 11 日（月）

内 容 大名有馬家当主は、代々格式ある家柄の姫様を正室を迎えた。本展では、名家から持参された婚礼道具を中心に、60 点を展示。

関連事業 ワークショップ「ちりめんの布で作る香り袋」（2 月 22 日、講師：平塚礼子氏）、学芸員による展示解説（3 月 14 日、4 月 12 日）を開催した。（佐藤）



## 2. 広報

### (1) 広報活動

#### ◆印刷物

年間スケジュールリーフレット

各企画展のポスター・チラシの製作・配布（3回）

#### ◆ホームページ

5月1日、有馬記念館ホームページは、従来のデザインを一新するとともに、新たなコンテンツも加え、リニューアルした。

展示会・イベントの案内や、開館情報等を随時更新している。



ホームページトップ（部分）



動画で見る有馬家

### (2) 報道記事

掲載月日	掲載紙等	内容
5月2日	西日本新聞 朝刊	有馬記念館で「和算に挑戦」開催
5月17日	西日本新聞 朝刊	「和算」に挑戦あすイベント 久留米・有馬記念館
5月20日	西日本新聞 朝刊	改装後の有馬記念館入館者5万人に 久留米市藤崎君（小1）に記念品
6月1日	広報くるめ	リニューアル後の入館者が5万人に
6月14日	読売新聞 朝刊	久留米藩の最先端数学 「和算」体験教室 小学生らが挑戦
1月25日	久留米日日新聞 朝刊	ひなまつりに合わせ 有馬記念館で31日から企画展「姫様のお道具」
2月1日	西日本新聞 朝刊	「姫様のお道具」豪華な60点展示
2月1日	読売新聞 朝刊	豪華な婚礼道具など70点 久留米で企画展 有馬ゆかりの品々並ぶ

### (3) 展示・イベント情報掲載紙

#### ◆新聞

西日本新聞 読売新聞 熊本日日新聞

#### ◆フリーペーパー

アン・ナップル クロスロードふくおか 月刊ぷらざ TOBU COCOMI

ご当地新聞くるめすたいる セカンド 西日本新聞×HOT PEPPER 久留米 ノーマ・ジーン

#### ◆地方公共団体広報紙

広報くるめ

## 3. 教育普及

#### ◆学校見学受入れ

- 9月19日 久留米市立青陵中学校 (17名)
- 11月2日 久留米大学 博物館学講座 (9名)
- 11月15日 留学生・観光コンベンション国際交流事業 (15名)
- 11月17日 久留米市立篠山小学校 (9名)
- 11月23日 久留米大学文学部情報社会学科2年 (6名)
- 2月6日 久留米市立城南中学校 (6名)
- 2月29日 福岡県立明善高等学校 (3名)

## 4. 収蔵資料の活用状況

#### ◆印刷物掲載

許可日	申請者	目的	内容
7月25日	週刊朝日編集部	『週刊朝日』掲載	有馬頼咸所用火事装束 有馬頼永所用甲冑
9月3日	高尾 曜	同氏著「梶川家の文献研究—新出史料の由緒書と菩提寺・家伝史料を中心に—」(『漆工史』第37号)掲載	人形小物 (印籠、葵紋付肩衣)
2月24日	週刊朝日編集部	週刊朝日ムック『武将の子孫』掲載	有馬頼咸所用火事装束

## 5. 入館者数

### (1) 平成 26 年度 入館者数 (展示会別)

展示会名	開館日数	入館者数 (人)		
		有料	無料	合計
第 1 回企画展「久留米藩の学問」	86	879	376	1,255
第 2 回企画展「久留米城と篠山神社」	124	1,529	672	2,141
第 3 回企画展「姫様のお道具」	87	1,651	864	2,515

### (2) リニューアル・オープン～平成 25 年度 入館者数 (年度別)

年度	H22	H23	H24	H25	H26
入館者数 (人)	4,375	11,264	28,148	5,605	5,388
展示会数	企画 2	特別 1 企画 3 常設 3	特別 1 企画 1 常設 3	企画 2 常設 2	企画 3

※ H22 は、11 月 28 日以降

---

有馬記念館年報 第1号

平成26(2014)年度

平成28年3月31日

発行 公益財団法人有馬記念館保存会  
福岡県久留米市篠山町444

印刷 香和印刷株式会社

---



